

衆院選投票開票日の14日夜、比例近畿に立候補した公明党的竹内譲が構えた京都市下京区の事務所で、テレビの選挙番組を見ていた支持者の男性が漏らした。「すごいな。壊れたルーレットみたいや」。

投票締め切りの午後8時と同時に、ものすごい勢いで増えていく自民党的議席数。思わず声が出た。

早々に当確が出た竹内は感謝の言葉とともに、「安全保障問題や特定秘密保護法など危惧されていることもある。公明党が監視役を果たし、いい意味でブレーキ役を果たすことが求められている」と自分を言い聞かせるように述べた。

首相安倍晋三が自らの名を冠した経済政

1 政治 第2幕

上自公大勝



当選を果たし、万歳の声が響く自民候補の事務所。巨大与党の行方が問われている(14日、宇治市)

策「アベノミクス」を争点に掲げ、師走に仕掛けた衆院選。自民は200議席、公明は35議席で計235議席となり、公示前には続いて衆院定数の3分の2以上を確保した。

「3分の2」は憲法改正の発議に必要な数だ。安倍は勝利を受け、憲法改正について「国民の理解を得られることが重要だ。改正の必要性を訴えていきたい」と意欲を示した。これに呼応するように、滋賀4区で再選した自民の武藤貴也は近江八幡市の事務所で「憲法改正? するでしょう。結党理念ですかね」と話した。選挙結果を受けて自民が悲願へと、本格的に動きだす兆しもみえる。

多くの京滋の自民関係者は多数の議席を選挙で与えられたこと、「謙虚にならなければいけない」（滋賀1区で勝利した大岡敏孝）などと繰り返す。小選挙区制の選挙結果は極端に振れることが多い。2005年の郵政選挙で296議席を獲得した自民党は、4年後、308議席をつかんだ民主党政権の座から追われた。

ただ、「敵」がいない一強多弱の国会で、暢心を抑えることができるのか。京都4区で敗北した民主の北神圭朗は「緊張感のない国会になり、議論もされなくなつて民意から懸け離れる恐れがある」と顔を曇らせる。巨大与党に対するための選挙区調整を京都党は競合を避けるための選挙区調整を京都

前回衆院選以降、2年続いた「1強」体制が再び幕を開ける。京都1区に出た自民重鎮で前衆院議長の伊吹文明は14日、11回目の当選を決めた下京区の事務所で日本政治の現状を見据えるように語った。「議会制民主主義の健全な発展のためには強い野党がなければならない。日本のために健全な野党が育つてほしい」。 ┌ 敬称略

（衆院選取材班）

△

衆院選が終り、巨大与党を率いる安倍政権が引き続き日本のかじ取り役を担うことになった。自民「1強」体制の継続について、京滋の受け止めや課題を追つた。

＝3回掲載します。

「三分の2」慢心に自戒

で模索したが、奏功したとは言えない。京都2区を制した民主の前原誠司は「選挙区調整ではだめだった。もう一段、もう一段の努力が必要だ」と、野党再編も視野に入れる。